

齊藤ゼミナール活動記 クリスマスKIDS運動会

～大学生と思いつきり遊ぼう！～

私たち、齊藤ゼミの学生と社会教育課程の学生が中心となり、12月17日（日）に神大寺地区センター体育館において、「クリスマスKIDS運動会

～大学生と思いつきり遊ぼう！～」を開催しました。このイベントは神大寺地区に住む3歳～小学生の子どもたちを対象に、学生が主体となった地域連携事業を展開する第一歩として企画しました。

私は運営委員の一員としてこの企画に携わりました。しかし、今までこのような企画を行ったことがなかったため、正直何をすればいいのか戸惑いがありましたが、齊藤先生や地域の方々の協力を得ながら、打ち合わせや準備を進めることができました。また、企画を開催するにあたって一番の不安点だったのが、子どもたちが当日集まってくれるのかということでした。そのため、できるだけ多くの方にこの企画について知ってもらえるように、チラシを作成し近隣の小学校や幼稚園などに配布し広報活動を行いました。その成果もあつ

てか当日は30～50名程度という予想を超える、67名の子どもたちと約40名の保護者の方に参加していただきました。

当日、私たち学生は「フレッシュヤーズ（明るい、生き生き、元気）」という目標を持ち、活動しました。この目標は、学生がフレッシュな明るい気持ちを持ち、子どもたちや地域の方にも明るい気持ちを広めていこうという意味が込められています。

開会式、体操を行ったあと4つのチームをつくり、学生が考えた6つのプログラムによって競い合いました。プログラムは、トナカイの耳をバトンにして、ぐるぐるバットやネットをくぐり平均台を渡る障害物リレーやサンタになりきった学生が、かごを背負い、そのかごにボールを入れる玉入れ、サンタやクリスマスツリーなどのお題と同じポーズをとるだるまさんがころんだゲームなどクリスマスにちなんだプログラムが行われました。子どもたちと学生が団結し、楽しみながら一生懸命頑張っ

ていた姿がとても印象的でした。そして、事故やけがなく終始盛り上がりながら終えることができました。

また、当日会場へ足を運んでくれた保護者23名

人間科学部 人間科学科 1年 深山 寛斗



閉会式の様子

に対してアンケートも行いました。

「子供が『スポーツ（運動）を行うこと』に対してどのように考えていますか。」という質問に対して、全ての回答者が「運動させたい」と回答しました。理由として、「子供の運動能力をあげたい」「健康、体力づくりのため」という回答が多くありました。また、「けがをするような場面にあっても、大けがにつながる確率を減らしたい」などといったような回答もありました。

「あなたの子どもは、よく『外で遊び』ますか？それとも『家で遊び』ますか？」という質問には「外で遊ぶ」という回答が半数以上でしたが、「家で遊ぶ」と回答した中に「基本外が好きだが、親と一緒に遊ばせられない」という意見もありました。

広報に関して「どこで『クリスマスKIDS運動



プログラムの様子



必死にボールを入れようとする子ども達

会』を知りましたか？」という質問をしたところ、「学校等からのチラシで知った」という回答が多く得られました。これは、学校などにチラシを配ってくれるよう頼んだことがよい方向につながったと思います。

「今後、大学生と地域とどんな交流をしたいと考えていますか？」という質問をしたところ、運動を通じた交流をしたいという意見が多く寄せられました。他にも、ゴミ拾い、レクリエーションといった学生と一緒に活動するといった意見や、大学の文化祭に子どもが参加できるブースがあったらよいといった意見もありました。

よい地域、子育て環境についての質問に対して、

「子供が元気に遊べる環境がある。大声でもうるさいといわれぬ」「子どもがのびのび遊べる場所がある」といった意見が寄せられました。現在の神大寺地区に関しては「地域の方が子供たちに目を向けて生活しているため、子育てにはよい環境」「神大寺はとても子育てしやすく、いい場所だ」という意見がありました。また、「子供会などをもっと増やしてほしい」「公園や近所で遊べる遊びが少なくやりたいことができなかったりするため、やることを増やしてほしい」「近くの公園に遊びボランティアがいて、一定時間一緒に遊ぶことができればよい」などといった要望もありました。

多くの親が子供に運動をさせたいと考えている



サンタの登場で盛り上がる子ども達

が、外で遊ぶ場所がなく、外は危険だという認識があり、あまり外で遊べないような現状があると今回のアンケートを通じて感じました。地域に子どもがのびのびと遊べる場所がある、地域の人が子供を見守ってくれるという環境を整えることが子育てしやすい環境を作ることにつながるのではないかと思います。

この企画を通して、あまり接する機会がない子どもたちと交流することができ、またこの企画がなければ関わらなかったであろう地域の方とも関わらせてもらい、普段の大学生活では経験できないようなことを体験する機会となりました。今後地域との関わりを大切に、今回得たことを生かして地域活動や企画に挑戦していきたいと思っています。

最後になりますがこの企画を開催するにあたり、神大寺地区センターの方々をはじめとするたくさんの方にご協力いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。



協力していただいた地域の方々と学生の集合写真